

授業科目名	ドイツ語基礎 I A	担当形態	演習		
		開講学期	春学期		
担当教員	越智 フェリシタス	単位	1	年次	1

＝授業のテーマ及び到達目標＝

文法の基礎を理解したうえで、その知識にもとづく短い対話練習を繰り返すことで、ドイツ語を生きた言語として理解し、実際に使用できるようになることが授業の最大の目標です。その関連で必要となる発音の基本的規則の習得とヒアリング能力を高めることも重視します。さらに会話だけでなく、正しい発音で短い文章を読み、内容を理解できるようになることも到達目標に含まれます。以上の目標に加え、今日のドイツ人の日常における暮らしぶりを紹介することで、ドイツの歴史や文化に興味を抱くようになり、そこから日本とドイツの文化の違いについて考えるきっかけが得られるようになることも目指します。

＝履修の条件と学習の方法＝

言語を習得するうえで欠かせないのは、文字ばかりに頼らず言語を音声としてとらえ、音としての言語を聞き話す能力です。授業時間は限られているので、各自家で授業中に取り上げた発音練習をしっかりと行うことや、短い対話練習も暗記することが授業の参加の条件です。文法は知識の積み重ねです。

しっかりと身につけるには、自宅での復習が肝要です。授業時間内は、教室の中が小さなドイツ語しか通用しない世界だと思い、日本語による無駄話などは極力避けて、授業に集中すること。

＝授業の概要＝

授業の概要は次の通りです。授業の冒頭でドイツ語字幕付きのDVD映像を見せ、その内容を理解するのに必要な文法の説明を行います。つぎに、字幕として表示されるドイツ語をクラス全員に発音させます。その後字幕なしの映像を見せてから、その内容について、クラスの各自にドイツ語で質問します。以上を終えた後に、教科書にある練習問題を行います。各課を終える際に、取り上げられた内容についてドイツ人学生がインタビューされた映像を見せ、その要点や、重要な表現などを板書しながら受講者に説明します。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 基礎発音練習 挨拶言葉
- 3回 友達の紹介：規則動詞と動詞 sein の現在人称変化・文の作り方
- 4回 ドイツの学生のインタビュー：音楽について（DVD）
- 5回 身近な物：定冠詞と不定冠詞の格変化
- 6回 ドイツの学生のインタビュー：教育制度、学歴について（DVD）
- 7回 余暇：名詞の複数形の作り方と格変化・数詞
- 8回 ドイツの学生のインタビュー：スポーツについて（DVD）
- 9回 食べ物：不規則動詞の現在人称変化・人称代名詞の3格と4格
- 10回 ドイツの学生のインタビュー：ファーストフードについて（DVD）
- 11回 都市の紹介：前置詞の用法
- 12回 ドイツの学生のインタビュー：友達と遊ぶ場所について（DVD）
- 13回 携帯電話：定冠詞類と不定冠詞類の格変化
- 14回 ドイツの学生のインタビュー：インターネットと携帯電話について（DVD）
- 15回 春学期のまとめ・復習

＝テキスト（必携）＝

書籍名：ぼくらの未来－映像と会話で学ぶ初級ドイツ語

著者名：萩野蔵平、Andrea Raab、石井寿子

出版社：朝日出版社

出版年：2012年

価格：2500円＋税

＝参考書・参考資料（必携）＝

書籍名：アポロン独和辞典

著者名：根本道也・成田克文他

出版社：同学社

出版年：2016年

価格：4200円+税

ISBN978-4-8102-0006-5

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業中の平常点と学期末に行う筆記試験を、以下の割合で総合的に評価する。

- ・平常点（50％）の内訳：毎回の出席状況：30％、授業に意欲的に貢献しているか：20％、ドイツ語の発音、アクセント、イントネーションの正確さ：20％、ドイツ語による質問を正しく理解し、それに答えられる力：30％
- ・学期末筆記試験：50％

＝その他＝

特になし。